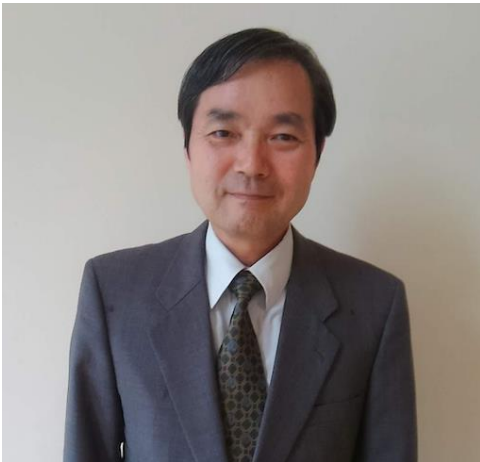




北海道聖書学院

2023 年度 春の夜間聖書講座ご案内



主の御名を賛美いたします。

新型コロナ感染により3年越しで、お願いしていました実践神学の「個人伝道」を実施致します。愛する家族、友人・知人のために、ご自分のことばをもって福音を分かち、伝える喜びを知る学びです。どうぞ、他の教会員の方と一緒に受講されますように、多くの方をお待ちしています。

2023年3月

北海道聖書学院院長 松元 潤

***主 題 「主の恵みから生まれる個人伝道」**

***講 師 堀田 修一 (ほりた しゅういち) 師**

***プロフィール**

1956年熊本生まれ。熊本の鹿本キリスト教会 (JECA) で受洗。

北海道聖書学院卒。

大麻福音キリスト教会 (JECA) で33年間、伝道牧会。

札幌ライトハウスキリスト教会 (JECA) で8年間、伝道牧会。

札幌聖書キリスト教会 (JECA) で、現在5年目の伝道牧会中です。

趣味は、霊性を養う良書を繰り返し読み味わうこと。歌を歌うこと。スポーツ。ユーモア。

好きな食べ物は、うどん、塩ラーメン、長崎ちゃんぽん、こしあん・白あんの饅頭。

二人の子どもは自立し、伝道牧会の良き助け手の妻と二人暮らしです。

***講師からのメッセージ**

私は、主を信じた頃は、相手の気持ち、状況を理解せず、とにかく主を伝えなければという気持ちで伝道しました。そのやり方は、ある人に聞いて下さる心よりも反発心を与えることになりました。その後、主の個人伝道の姿とみことばから、まず、相手に仕え、愛を示し、関係を築いてから、主を伝えることを教えられて来ました。聖書のエペソ4:15に「愛をもって真理を語り」とあります。「真理を語り」の前に、「愛をもって」が先にあります。ここに深い意味があります。真理、福音を伝える前に、「愛の関係作り」が大切です。「愛をもって」とは、真理、福音を「語る」前に、相手の悩み、痛み、「心の耳を傾け聞く愛」の必要性です。その関係の中に神が働かれ、主を伝える機会が与えられます。神が私たちに与えられた分は、「人を救うこと」ではなく、「祈りつつ愛を示し、主を伝えること」です。人に主を信じる信仰を与え救われるのは神の主権の領域のみわざです。私は、以前から「個人伝道」の授業で大切にしているみことばの順序があります。マルコ3:14の「イエスは十二人を任命し、…それは、彼らを自分のそばに置くため、また遣わして宣教をさせ」の順序です。「宣教をさせ」の前に、「彼らを自分のそばに置く」があります。私たちも宣教、伝道の前に主のみそばに自分を置き、主の恵みに憩い、恵みから生まれる伝道を目指しましょう。金曜の午前8:20からの授業の聴講か、午後7時からの夜間講座でお待ちしています。

*内容 (全 10 回の学びです)

- 1 4月21日 個人伝道の大切さと恵みに満たされるディボーション
- 2 4月28日 イエス様の個人伝道→ニコデモとサマリヤの女へ
- 3 5月12日 イエス様の個人伝道→金持ちの役人とザーカイへ
- 4 5月19日 創造についての伝道。実践的な学び。
- 5 5月26日 罪についての伝道。実践的な学び。
- 6 6月2日 救いの7つの面の恵みについての伝道。実践的な学び。
- 7 6月9日 絵を用いての伝道。実践。救いの確信について。実践。
- 8 6月16日 三位一体についての伝道。実践。その他。
- 9 6月23日 相手の立場になり伝道する。Iコリント9:19-23
- 10 6月30日 教えられた恵みの分かち合いと最後のまとめ

*期 日 2023年4月21日(金)～6月30日(金)

毎 金曜日午後7時～8時40分(全10回)

*場 所 北海道聖書学院礼拝室 〒003-0831 札幌市白石区北郷1条3丁目1番61号

*受 講 料 10,000円(教材費を含む。2回分納可)

(部分参加割引はありません。学院賛助者は20%割引致します。)

*受 講 資 格 18歳以上のキリスト者

*申 込 期 限 2022年4月20日

*申 込 方 法 下記申込欄に記入して郵送またはFAX(011-871-7899)でお願いします。

受講料は講座の初日に申し受けます。(電話 011-871-7892)

2023年度 春の夜間聖書講座受講申込書

ご氏名(ふりがな) _____ 性別 男 女

ご住所 〒 _____

ご連絡先/お電話 _____ 受講料 一括 分納

所属教会 _____